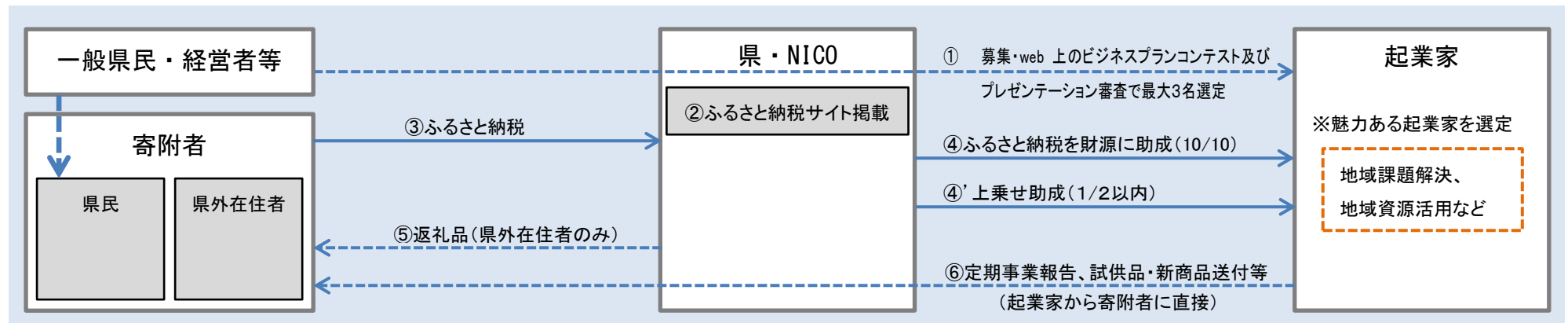


「ふるさと起業家応援事業」の流れ

【目的】 ふるさと納税の仕組みを活用した起業家の資金調達支援を行うとともにweb上におけるビジネスプランコンテスト及びプレゼンテーション審査で起業家を選定することにより、県内の起業機運の醸成を図る。

- 【概要】
- ・ 地域資源を活用するなど、魅力ある起業家（創業・第二創業予定者）をweb上のビジネスプランコンテスト及びプレゼンテーション審査で選定（最大3名程度）
 - ・ 選定された起業家の事業内容をふるさと納税HPに掲載し、ふるさと納税（寄附金）を募る（1者当たり目標金額100万円以内で設定）
 - ・ 集まった寄附金に上乗せして、1者当たり上限100万円（助成率1/2以内）を補助
 - ・ 起業家より寄附者に対し、定期的な事業報告とともに、試供品や新商品などの特典を送付（顧客拡大効果）

■事業体系



■各フェーズ詳細

① 募集・web上におけるビジネスプランコンテスト及びプレゼンテーション審査

- ・ web上におけるビジネスプランコンテストと県民へのアンケート調査形式による投票に加え、プレゼンテーション審査における外部有識者による審査とオーディエンス（一般県民・経営者等）の投票結果により選定

※最大3名を選定

② ふるさと納税サイト掲載

- ・ 県指定のふるさと納税ポータルサイトに事業計画を掲載し、寄附金を募集
- ・ 募集目標金額は1者当たり100万円以内で設定

③ ふるさと納税、④ 助成、④' 上乗せ助成

- ・ 最低金額設定の有無など、募集の条件については、募集前に県において設定
- ・ ④助成：対象経費は起業チャレンジ応援事業と同じ・助成率 10/10
- ・ ④' 上乗せ助成：対象経費は施設整備費・機械装置費・備品費に限定、上限額 100万円・助成率 1/2以内

⑤ 返礼品

- ・ 県より寄附者に寄附額に応じた品物を送付

⑥ 定期事業報告、試供品・新商品送付等

- ・ ①の応募時に、寄附者から継続的に関心を持ってもらうための工夫を提案し、それに基づいて実行
- ・ 定期的な事業報告（必須）のほか、自社製品の試供品等の送付、事業所見学への招待、新製品の贈呈等を想定